

平成 30 年 台風第 24 号について

～ 非常に強い台風が沖縄本島地方にかなり接近、嚴重に警戒 ～

台風第 24 号は、非常に強い勢力で 29 日昼過ぎから夜のはじめ頃にかけて、沖縄本島地方にかなり接近する見込みです。沖縄本島地方と先島諸島では、暴風や高波、大雨、高潮による重大な災害が発生するおそれがあります。

報道機関の皆様におかれましては、県民に対して、事前の十分な対策と嚴重な警戒の呼びかけをよろしくお願いします。

1 台風の現況と予想

台風第 24 号は、28 日 9 時には宮古島の南東約 380 キロの北緯 22 度 30 分、東経 128 度 00 分にあつて、ゆっくりした速さで西北西へ進んでいます。中心の気圧は 950 ヘクトパスカル、中心付近の最大風速は 45 メートル、最大瞬間風速は 60 メートルの大型で非常に強い勢力の台風となっています。

台風第 24 号は、29 日には非常に強い勢力で沖縄本島地方にかなり接近する見込みです。

2 予想される風や波、雨量などの防災事項

沖縄本島地方では、29 日未明から 30 日午前中にかけて暴風となり、台風が最も接近する 29 日昼過ぎから夜のはじめ頃にかけては、最大風速 50 メートル、最大瞬間風速 70 メートルの猛烈な風が吹く見込みです。また、先島諸島でも 28 日夕方から 29 日夕方にかけて暴風となり、台風が最も接近する 29 日明け方には、最大風速 35 メートル、最大瞬間風速 50 メートルの猛烈な風が吹く見込みです。暴風に嚴重に警戒してください。

沖縄地方の沿岸の海域ではうねりを伴い猛烈なしけや大しけとなっており、猛烈なしけや大しけの状態は 30 日にかけて続く見込みです。うねりを伴った高波に嚴重に警戒してください。

また、沖縄本島地方では 29 日朝から 29 日昼過ぎにかけて、宮古島地方は 29 日朝から 29 日昼前にかけて潮位が高くなる見込みです。海岸や河口付近の低地では、高潮による浸水や冠水に嚴重に警戒が必要です。

29 日は、沖縄本島地方で 1 時間に 80 ミリの猛烈な雨、先島諸島では 1 時間に 70 ミリの非常に激しい雨が降る見込みです。また、28 日 12 時から 29 日 12 時までの 24 時間雨量は沖縄本島地方と先島諸島で 200 ミリを見込み、その後の 29 日 12 時から 30 日 12 時までの 24 時間雨量は、沖縄本島地方で 300 から 400 ミリとなる見込みです。土砂災害や低い土地の浸水、河川の増水や氾濫に嚴重に警戒してください。

風や雨が強まり外での行動が困難となる前の 28 日の明るいうちに早めの対策を行い、市町村が発令する避難情報に従うなど、適切な行動をとってください。危険な場所には近づかないでください。過去に土砂災害や洪水害、高潮害などが発生した地域は特に警戒してください。

過去の台風災害から、最大瞬間風速 60 メートル以上の風が吹くと、家屋の倒壊や車両の横転・破損、広範囲な電柱の倒壊、倒木による道路寸断や建物の損壊、長時間の停電、ガラス窓の破損等が予想されます。また、強風による転倒やドア開閉時の指の負傷等の人的被害も発生しています。

3 具体的な台風対策

(家の外の備え)

- ・窓の雨戸は、しっかりとカギをかけ、必要に応じて補強しましょう。
- ・側溝や排水口は、掃除をして水はけをよくしておきましょう。
- ・風で飛びやすい物は、飛ばないように固定し家の中へ入れましょう。
- ・倒木のおそれがありますので、枝打ちを行うとともに、木の近くには駐車は避けるようにしましょう。
- ・風が強まると高所での作業は危険ですので控えましょう。
- ・大雨が予想されるため、河川や道路の工事中の所は早めの対策をお願いします。
- ・高潮と高波、大雨が重なり、海岸付近の低い土地の浸水、港湾内での船舶の被害のおそれがあります。早めの対策をお願いします。

(家の中の備え)

- ・長時間の停電に備えて携帯電話の充電や懐中電灯、ラジオ、電池等の準備をしましょう。
- ・非常用品(救急薬品、非常用食品、飲料水など)を確保しましょう。
- ・断水に備えて、飲料水を確保するほか、浴槽に水を張るなどして生活用水を確保しましょう。

(台風が接近しているときは)

- ・風、雨が強まってからの不要不急の外出等は控えてください。
- ・海や川、がけの近くなど危険な場所には絶対に近づかないでください。
- ・避難場所を事前に確認し、身の危険を感じたら安全を確保しながら自主的に避難しましょう。
- ・古い木造住宅やプレハブ住宅などは、暴風により倒壊する危険性があります。避難所への自主避難を心がけてください。
- ・暴風域に入る時間帯が夜になる場合は、明るい内に避難所へ避難しましょう。特に、避難に支援を必要とする要配慮者の皆さんは、地域で助け合って早めに避難所へ避難させてあげましょう。
- ・市町村長から避難指示があった場合は、すぐにその指示に従えるよう準備し、あわてず速やかに避難しましょう。
- ・過去に土砂災害や洪水害、高潮害などが発生した地域は、特に警戒してください。
- ・台風之眼に入っても風が弱まっても、猛烈な吹き返しの風がありますので外出はやめましょう。
- ・竜巻などの激しい突風にも注意が必要です。発達した積乱雲の近づく兆しがある場合には、建物内に移動するなど、安全確保に努めてください。
- ・気象台が発表する「台風情報」「警報・注意報」など最新の気象情報を入手しましょう。

過去の災害状況（参考）

2003年9月10～12日に宮古島地方へ接近した台風第14号（マエミー）の被害状況
 （宮古島：最大風速 38.4 m/s、最大瞬間風速 74.1 m/s）



暴風により破壊された車（気象台職員撮影） 暴風により倒壊した電柱（気象台職員撮影）

2015年8月23日に八重山地方へ接近した台風第15号の被害状況
 （石垣島：最大風速 47.9m/s、最大瞬間風速 71.0m/s）



暴風により破壊された車（気象台職員撮影） 高波により沈没した船（気象台職員撮影）

観測史上1～5位の値（年間を通じての値）

那覇（沖縄県）

要素名／順位	1位	2位	3位	4位	5位	統計開始
日最大風速・風向 (m/s)	49.5 東北東 (1949/6/20)	47.0 南西 (1957/9/26)	46.4 北北東 (1949/7/23)	45.2 北 (1959/11/13)	45.1] 西北西 (1948/10/4)	1927年5月
日最大瞬間風速・風向 (m/s)	73.6 南 (1956/9/8)	61.4 南 (1957/9/26)	61.2 西北西 (2012/9/29)	58.9 南南東 (1999/9/22)	58.2 北 (1961/10/2)	1953年8月
日最低海面気圧 (hPa)	936.3 (1956/9/8)	939.7 (2007/7/13)	940 (1954/8/15)	940.5 (1961/10/2)	940.6 (1930/7/17)	1890年7月

久米島（沖縄県）

要素名／順位	1位	2位	3位	4位	5位	統計開始
日最大風速・風向 (m/s)	43.7 南東 (1968/9/23)	42.6 南南東 (1961/10/3)	39.6 南東 (2016/10/4)	36.5] 南東 (1993/9/2)	35.2 南東 (1974/7/5)	1958年7月
日最大瞬間風速・風向 (m/s)	62.8 南 (2007/9/15)	62.4 南東 (1968/9/23)	60.8 南南東 (1961/10/3)	59.3 北東 (2007/9/14)	56.8 南東 (2016/10/4)	1958年7月
日最低海面気圧 (hPa)	928.1 (1993/9/2)	939.3 (2007/9/15)	940.2 (1961/10/3)	941.1 (1991/7/27)	947.9 (1968/9/23)	1958年7月

<参考資料>

◆雨の強さと降り方

1時間雨量 (mm)	雨の強さ (予報用語)	人の受ける イメージ	人への影響	屋内 (木造住宅を想定)	屋外の様子	車に乗っていて
10~20	やや 強い雨	ザーザーと 降る。	地面からの 跳ね返りで 足元がぬれる。 	雨の音で話し声が よく聞き取れない。 	地面一面に水たまり ができる。 	
20~30	強い雨	どしゃ降り。	傘をさしていてもぬれる。 	寝ている人の半数 くらいが雨に気が つく。 	道路が川のように なる。 	ワイパーを速く しても見づらい。 
30~50	激しい 雨	バケツを ひっくり返したように 降る。				高速走行時、 車輪と路面の 間に水膜が生じ、ブレーキ が効かなくなる。 (ハイドロプレーニング 現象) 
50~80	非常に 激しい 雨	滝のように 降る。 (ゴーゴー と降り続く)	傘は全く役に立たなく なる。 		水しぶきであたり 一面が白っぽくなり、 視界が悪くなる。 	車の運転は危険。 
80~	猛烈な 雨	息苦しくなる ような圧迫感がある。 恐怖を感じる。				

◆風の強さと吹き方

平均風速 (m/s) おおよその時 速	風の強さ (予報用 語)	速さの 目安	人への影響	屋外・樹木の様子	走行中の車	建造物	瞬間 風速 おおよその (m/s)
10~15 [~約50km/h]	やや 強い風	一般道路 の自動車	風に向かって 歩かなくなり 傘がささ ない。 	樹木全体が 揺れ始める。 電線が揺れ 始める。 	道路の吹流し の角度が水平 になり、高速 運転中では横 風に流される 感覚を受ける。 	種(とい)が揺れ 始める。 	20
15~20 [~約70km/h]	強い風	高速道路 の自動車	風に向かって 歩けなくなり 転倒する人も 出る。高所 での作業はき わめて危険。 	電線が鳴り 始める。看板 やトタン板が 外れ始める。 	高速運転中 では、横風に 流される感覚 が大きくなる。 	屋根瓦・屋根 葺材がはが れるものがある。 雨戸やシャ ッターが揺 れる。 	30
20~25 [~約90km/h]	非常に 強い風		何かにつか まっていな いと立ってい られない。飛 来物によっ て負傷する おそれがある。 	細い木の幹 が折れたり、 根の張って いない木が 倒れ始める。 看板が落下 ・飛散する。 道路標識が 傾く。 	通常の速度 で運転する のが困難に なる。 	屋根瓦・屋根 葺材が飛散 するものがある。 固定されて いないプレ ハブ小屋が 移動、転倒 する。ビニ ールハウスの フィルム(被 覆材)が広 範囲に破 れる。 	40
30~35 [~約125km/h]		猛烈な 風	特急電車	屋外での行 動はきわめ て危険。 	多くの樹木 が倒れる。 電柱や街灯 で倒れるも のがある。 ブロック壁 で倒壊する ものがある。 	走行中のト ラックが横 転する。 	固定の不十分 な金属屋根 の葺材がめ くれる。養 生の不十分 な仮設足場 が崩落する。 
35~40 [~約140km/h]	外装材が広 範囲にわた って飛散し 、下地材が 露出するも のがある。 			60			
40~ [約140km/h~]	住家で倒壊 するもの がある。鉄 骨構造物で 変形する ものがある。 						